



- ◆～中学校保健体育科～武道・ダンス必修化 …… 2
- ◆知っ得！文化財 …… 3
- ◆新入生の一年間 …… 4～5
- ◆教育相談Q&A・フォトニュース秋 …… 6

市立川越高校 春の高校バレー熱闘！

1月6日、第65回全日本バレーボール高等学校選手権大会がさいたまスーパーアリーナで開催されました。3年ぶり31回目の出場的女子バレーボール部は、香川県立高松商業高校と対戦しました。第1セットを先取するものの、残念ながら1-2で惜敗してしまいましたが、粘り強いプレーに会場を埋めた応援団からは大きな拍手が送られていました。

川越市マスコットキャラクター
ときも



息詰まる決勝戦の様子

川越市子ども会かるた大会開催



かわごえ郷土カルタ

11月11日に、川越運動公園総合体育館で「かわごえ郷土カルタ」を使った第10回川越市子ども会かるた大会が開催されました。厳しい予選を勝ち抜いた選手たちの熱戦が繰り広げられました。



小中20校にやまぶき苗木贈呈

11月15日と12月7日に、川越小江戸・川越・川越西・川越中央の4ロータリークラブから市制施行90周年を記念して、小中学校の希望校に市の花であるやまぶきの苗木が寄贈されました。委員会活動の一環として、子どもたちも一緒に植樹した学校もありました。

武道・ダンス必修化

中学校では、平成二十四年度から新学習指導要領に基づいた学習が全ての教科においてスタートしております。

その中で、保健体育科では、伝統や文化に関する教育を充実させるため、これまで第一学年で「武道」または「ダンス」のいずれかを選択としていたことを改めて、第一学年及び第二学年ですべての生徒が「武道」「ダンス」を履修することとなりました。

小学校から高等学校までの十二年間を通して、発達の段階に応じ、子どもたちはさまざまな運動を体験します。この体験は、自らがさらに探究したい運動を選択できるきっかけづくりとなります。

これにより、学校卒業後もスポーツを通して楽しみや喜びを味わい、生涯にわたって健康を保ち、豊かなスポーツライフの実現を目指します。

なお、現在川越市内中学校では、十六校が柔道を、六校が柔道と剣道の両方を実施しております。今後も生徒たちが安心して武道を学べるよう、健康・安全に十分留意した武道指導に努めていきます。

■学習指導要領とは

文部科学省が定める、学校の教育課程(学校の教育計画)の基準となるものです。各教科等の目標、学習内容、授業時間などが定められていて、これに基づいて各学校は、自校の教育課程を作成します。



★ ★ ダンス ★ ★

ダンスは、「創作ダンス」「フォークダンス」「現代的なリズムのダンス」で構成されます。感じを込めて踊ったり、イメージをとらえて自己を表現したりすることに楽しさや喜びを味わうことのできる運動です。

イメージをとらえた表現や踊りを通して、仲間とのコミュニケーション能力の育成を図ります。

～ダンス「現代的なリズムのダンス」(霞ヶ関西中学校)～



★ ★ 武道 ★ ★

武道は、武技、武術などから発生した我が国固有の文化です。相手の動きに応じて、基本動作や基本となる技を身に付け、攻撃したり、防御したりすることで、勝敗を競い合う楽しさや、喜びを味わえる運動です。

また、武道の学習を通して、武道の伝統的な考え方を理解し、相手を尊重する心を養います。

～柔道「固め技」の練習風景(霞ヶ関西中学校)～



「いじめ相談電子窓口」開設

前97号(2012年11月1日発行)で「いじめの問題に対する今後の取組」について掲載しましたが、川越市教育委員会では、平成25年1月4日(金)から、電子メール「いじめ相談電子窓口」を開設しています。相談される方は、川越市ホームページの電子窓口にある専用ホームに相談内容を入力してください。